

単元名：

「He is famous. She is great.」

(全6時間扱い中 第4時)

授業日時 2019年9月17日(火) 第4校時

授業学級 6年東組

授業会場 6年東組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

児童は、形容詞を用いてキャラクターの特徴を話すことができる。

(2) 授業のポイント

- ・日本の有名なキャラクターの説明を考える場面で、そのキャラクターの特徴をもとにスリーヒントクイズを出し合っていた。【前時までの子どもの様子】
- ・キャラクターを作成し、そのキャラクターの特徴を説明することを通して、形容詞に触れ、形容詞を用いて特徴を話す。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	◎児童の反応・○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
----	------	--------------------------	----

Small talk やりとり例 (Y: yamamoto A: アーロン先生 C: Children)

Y: Do you know my hometown? (児童に聞く)

C: Yes, Aichi. / No.

Y: My hometown is Aichi. Do you know Aichi?

A: Yes. Aichi is "famous" for Nagoya.

Y: Aichi is "famous" for Nagoya. Nagoya has many many people.
Nagoya has about 230 万人, Matumoto has about 24 万人.
So, Nagoya is "big" city, but Matumoto is not "small" city.
Matumoto is "big" city in Nagano.

Y: And, Nagoya is "famous" for pro baseball, and pro soccer team.
Do you know?

A: I know soccer team. It is 名古屋グランパス.

Y: Yes. グランパス is now 11th, so it is not "weak" but not "strong".

Y: Do you know baseball team in Nagoya? (児童に聞く)

C: 中日ドラゴンズ.

Y: Yes. 中日 is now 5th, so it is not "strong".

Y: How about Nagano?
Do you know "famous" baseball and soccer team in Nagano?

C: 松本山雅.

Y: 山雅 is "famous" soccer team. Is 山雅 "strong"?

C: Not strong.

Y: 山雅 is weak!

Y: アーロン先生, how about Holland?

導 入	1. Small talk	◇ “famous” と自分の地元、みんなの地元に触れる	5
	2. “famous” 以外の形容詞を考える。	○ 「Aichi is “famous” for Nagoya city. 「“famous” is 形容詞。」 ★ “famous” カードを貼る ○ 「What did アーロン and me use 形容詞 in talk？」 ◎ 「strong」「weak」「big」「small」 ○ 「Do you know other 形容詞？」 ◎ 「great」「tall」「long-short」「heavy」「light」 「beautiful」「cool」「cute」「delicious」「happy」 「hungry」「big-small」「special」「new-old」 「yellow(color)」「fast-slow」「hot-cold」 ★各カードを貼っていく。(無いものは手書き) (◇あまり出なかったら、次のステップに行く。)	5
	3. キャラクターのイラストを提示して、そのキャラクターに合う形容詞を選択する。	○ 「(ウルトラマンのイラストを見せながら) He is strong. He is tall. He is …？」 ◎ 「He is big.」「He is grey.」 ◇ミッフィー・ピカチュウ・アンパンマン・トトロのイラストを用いる (◇あまり返答がなければ形容詞のカードを示しながら「Is ミッフィー strong?」「Is ミッフィー weak?」…と聞いていく。)	4

展開	4. オリジナルキャラクターを作る。	<p>○「オリジナルキャラクターを作って、みんなにそのキャラクターの特徴を紹介してもらいます。」</p> <p>○「使う形容詞は4線のところに書こう。」</p> <p>◇自分で形容詞を2,3個選んで、その形容詞をモチーフにキャラクターをつくる(名前も付ける)。</p> <p>★自分が書いたオリジナルキャラクターをいくつかタブレットとテレビ画面を用いて紹介し、イメージしやすくしたり、絵のクオリティの基準を示す。</p> <p>★さまざまなキャラクターをテレビに映し出して、参考にできるようにする。</p> <p>◇キャラクターを組み合わせたものでもよいことを説明する。</p>	22
	5. キャラクターの説明の仕方を聞く。	<p>◇説明の仕方をアロン先生とのやりとりで伝える。</p>	2
	6. お互いにキャラクターを説明し合う。	<p>やりとりの例</p> <p>Y: My character is this. This character's name is _____.</p> <p>This character is very strong. Arms and legs are very big.</p> <p>And, this character is delicious. The head can eat.</p> <p>How about you?</p> <p>~change~</p> <p>◇先生が作ったキャラクターをテレビに映し出しながら、やりとりを行う。</p>	4
	7. 数人の作品を全体で共有する。	<p>○「みんなが作ったキャラクターの中からいくつか紹介したいと思います。紹介された人はその場で特徴を説明してください。」</p> <p>◇タブレットとテレビ画面を用いて共有する</p>	3
【評価(対象)】児童は、形容詞を用いてキャラクターの特徴を話すことができている。(会話の様子から)			
終末	8. 振り返りをする。	○「今日の振り返りをしましょう。」	2